

ツキノワグマ被害防止対策に係る緊急関係部局長会議 次第

日時：令和 7 年 10 月 16 日(木)16:30～

場所：危機管理センター災害対策本部会議室

1 開 会

2 議 題

ツキノワグマによる被害状況及び被害防止対策について

3 閉 会

ツキノワグマ被害防止対策に係る緊急関係部局長会議

令和7年10月16日

1 ツキノワグマによる被害状況について

(1) 目撃件数

- ・令和7年度は目撃件数が過去最多を記録。
- ・通常、目撃件数が減少する10月に15日間で190件の目撃件数となっている。

■クマの目撃件数の推移（R7は10月15日時点）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R1	30	80	113	164	79	45	22	16	3	3	1	2	558
R2	12	60	82	120	107	59	102	50	4	1	3	3	603
R3	11	49	69	90	54	11	8	4	2	0	2	3	303
R4	23	67	100	72	75	27	9	8	1	0	3	0	385
R5	18	79	119	130	98	64	68	87	21	9	8	8	709
R6	19	96	189	114	102	37	15	14	21	2	4	5	618
R7	29	93	172	188	179	187	<u>190</u>						<u>1,038</u>

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
9月末までの件数	511	440	284	364	508	557	<u>848</u>

(2) クマによる人身事故発生状況について

- ・10月16日に相次いで3件の事故が発生。
- ・今年度は13件（15名）の事故が発生しており、過去最多ペースとなっている。
- ・河川敷や河川付近での事故が相次いでいる。秋以降はキノコ狩りや農作業、草刈り中の事故が増加する傾向

■今年度のクマによる人身事故の発生状況

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人数	9	9	3	7	<u>15</u>	6	<u>15</u>

	日時	時刻	場所	発生状況
1	R7. 5. 12	15時頃	郡山市	4名で山地内作業中にうち1名(50代男性)が体長約1.5mのクマに襲われる
2	R7. 7. 2	5時30分頃	西会津町	1人(80代男性)で散歩中に親子グマに遭遇し顔面を負傷する
3	R7. 7. 14	9時頃	下郷町	阿賀川河川敷で野鳥調査中の30代男性2名がクマに襲われた。
4	R7. 8. 1	11時頃	福島市	2人で散歩中に突然クマが現れて、妻を守ろうと大声を出した男性(50代)が体長約1mのクマに襲われた。
5	R7. 9. 5	11時頃	喜多方市	男性2名(40代、70代)が河川付近の竹林内で除草作業中、藪から出てきた親子グマ2頭(親の体長1.2m)に襲われた。
6	R7. 9. 20	16時30分頃	喜多方市	70代女性が墓の掃除中に熊に襲われた。
7	R7. 9. 27	21時頃	湯川村	村道を歩行中の60代女性がクマに襲われた。
8	R7. 10. 6	18時40分頃	南会津町	60代男性が、自宅前の道路に出たところをクマに襲われた。
9	R7. 10. 7	8時30分頃	会津若松市	鳥獣被害対策実施隊員である70代男性が、くくり罠の見回りをしていたところ、錯誤捕獲でくくり罠にかかっていたクマに襲われた。
10	R7. 10. 9	11時15分頃	檜枝岐村	60代男性が、山林にキノコを採りに行く途中、クマ1頭に襲われた。
11	R7. 10. 16	4時30分頃	喜多方	60代男性が、駅に向かい歩行中、クマに襲われた。
12	R7. 10. 16	5時30分頃	昭和村	男性が自宅敷地内の畑で落花生を食べていたクマ1頭に襲われた。
13	R7. 10. 16	6時30分頃	会津若松市	男性が原動機付自転車で通勤途中に親子グマに遭遇し襲われた。

(3) クマのエサとなる堅果類(ブナ、ミズナラ、コナラ)の豊凶調査結果の推移

- ・令和7年度はブナ、ミズナラ、コナラのいずれも凶作であり、R5を上回る凶作となっている。秋以降もエサを求めたクマの市街地出没増加が懸念される。

■豊凶調査結果の推移

【参考】豊凶調査結果の推移

表. 令和4年度～令和7年度の豊凶調査の結果

	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	結実調査			結実調査			結実調査			結実調査		
	中通り	会津	全体	中通り	会津	全体	中通り	会津	全体	中通り	会津	全体
ブナ	並作	豊作	豊作	大凶作	凶作	凶作	並作	並作	並作	凶作	凶作	凶作
ミズナラ	豊作	並作	並作	並作	凶作	並作	豊作	豊作	豊作	並作	凶作	凶作
コナラ	並作	並作	並作	並作	凶作	並作	並作	並作	並作	並作	凶作	凶作

※ 豊凶区分(結実調査): 大凶作～大豊作(結実調査は5段階で調査)

大凶作	凶作	並作	豊作	大豊作
-----	----	----	----	-----

(4) 注意報等の発令状況

① 中通り・会津

出没警報(令和7年9月11日から12月15日まで)

② 浜通り

出没注意報(令和7年9月11日から12月15日まで)

※ 注意報等の区分

- 出没警報 : 死亡事故が発生したとき、人身被害等の拡大が懸念されるとき
- 出没特別注意報 : 人身被害が発生したとき
- 出没注意報 : 人身被害等の発生が懸念されるとき

(5) 関係機関との連絡会議等の開催状況について

【専門家の現地派遣】

- ・ 5 月 28 日 磐梯町、北塩原村
- ・ 6 月 13 日 郡山市
- ・ 9 月 11 日 喜多方市
- ・ 9 月 12 日 猪苗代町

【危機管理室員会議】

- ・ 7 月 16 日 クマの目撃が相次ぎ、人身事故の発生が懸念されることから実施
- ・ 9 月 11 日 ツキノワグマ出没警報の発令を受けて実施

【ツキノワグマの被害防止に係る緊急連絡会議】

- ・ 9 月 30 日 南会津町（高齢者介護施設へのクマ侵入事案を受けて実施）

今、何が起こっているのか？ ⇒ いつまで続くのか？ ⇒ 今、すぐにどうする(対策)？

今秋起こっているクマによる人身事故の発生機序から

今秋 堅果類の凶作

特にブナ林のある中山間地域でエサ不足
(緑豊かな里地地域は特に注意)

昨秋 堅果類の豊作

- ・冬眠スムーズ
- ・産子数↑↑

今秋の状況：非常事態

・子連れのクマ、若いクマの出没
と事故↑(河川敷に身を隠しつつ)

・僅かなエサ(クリ、ミズキなど)奪い合い
⇒いよいよ足りなくなる
⇒大きなクマ(成獣♂)の里地出没

大きな背景
人口減少、緩衝帯の環境劣化
第一次産業の構造変化
⇒地域の活度↓

クマのヒト馴れ化

学習による里地執着個体↑

人馴れクマの里地出没

⇒ ①誘引物 ②去年も食べたから

最近の状況

今、すぐできること!!
やれること!!

人のクマ慣れ化

どうせ、ここはクマがいるから・・・
これまでは大丈夫だった

クマの事故から身を守る10項目

- + クマが襲ってきたら顔面を守る!!
- + 地域のクマ・リスク手作りマップ(可視化)

誘引物の除去(カキ、クリなど)、せめて近くに行かない
農作物の被害防止(ソバは注意) 倉庫の穀類、米ぬか
+ 自宅周辺の草刈り

花火は、人馴れクマに気づかせる
+ クマ慣れ人に気づかせる

1件1人でも県民を事故から守る
迅速で、繰り返し周知
リスクの引き算をしよう
⇒まず学校周辺、通学路の痕跡、目撃情報
⇒お年寄りの散歩コース

人身事故を1人でも1件でも減らすためにできること 10箇条！！

今年度はクマの目撃件数が過去最多となっており、人身事故も県内で13件(10月16日現在)発生しています。
一人一人が普段の生活から気をつけることで、人身事故の発生を減らすことができます。
普段から気をつけるべきことについて以下のとおり10箇条にまとめました。

- ① とくに日の出前、日没後には徒歩による外出を控え、また日中でも鈴など音の出るものを携行してください。山間地では隣の家に行く際にも注意が必要です。
- ② 子供たちの通学路、お年寄りの散歩コースの安全を今一度確認してください。また、校庭の周囲や自転車置き場が雑木などに囲まれている場合はクマが潜んでいる可能性が高くなります。下刈りや不要な枝を切り落とすなど見通しが利くようにしてください。
- ③ 河川敷がクマの移動ルートや潜み場所になっています。ヤブなどで見通せない河川敷には昼夜を問わず絶対に近づかないでください。また、河川敷につながる林やヤブも里地出沒のルートになっています。河川との位置関係を考え、隣接する農地などの出入りの際にも十分注意してください。
- ④ 犬の散歩時に人身事故が発生しています。ヤブや林などで見通しの利かない場所を通るルートは極力避けてください。またヤブに覆われた小川などに架かっている橋の上も危険なことがあります。これからは涼しいので、なるべく人通りや車通りの多い時間帯に変更してください。
そしてペットも大切な家族の一員です。鎖に繋いで飼っている場合は、クマだけではなくイノシシが襲う事故も発生しています。夜はなるべく屋内で飼養するか、リスクが高い場合は電気柵などで囲うようにしましょう。
また食べ残しのエサは必ず処分してください。ドングリはクマだけではなく、イノシシにとっても重要なエサになっています。今秋は、不作～凶作の地域が多いので、クマだけではなくイノシシにも注意してください。

⑤ **住宅や敷地内で物音がしても、不用意に外に出たり、窓を開けて確認したりしないようにしてください。**

また、敷地内に足跡や立木についた爪痕、草を分けたような跡、糞などの痕跡がないか定期的に確認してください。
駐車場での事故も発生しています。車に近づく前に、周辺に潜んでいないか注意するとともに、パンパンと手を叩いてクマに存在を知らせるなどしてください。

⑥ **人気のない畑や果樹園などの見回りの際には車両を使い、降りる前に周辺の気配に注意し、必要なら花火などで追い払ってから近づいてください。夜間の見回りは止めましょう。キャビンのないトラクターでの事故も発生しています。**

⑦ **今秋のクマはとにかく腹を空かせています。とくにカキやクリなどの未利用果樹木、ソバ畑、トウモロコシ畑などの野菜残渣、畜舎の配合飼料、鶏小屋、倉庫内の米ぬかや穀類、ベンキやグリース類などに誘引されます。**

またガラス窓を割って室内に侵入する事故も発生しています。カーテンを引いたり、夜間は雨戸などを使ってください。空き家などに潜んでチャンスを伺っているいることもあります。戸締りに注意してください。

⑧ **今秋のキノコ刈りはリスクが非常に高く、たとえ鈴などを携行していても命がけになります。注意してください。**

⑨ **林道の補修や架線の点検などの山地作業時、河川敷の刈り払いや環境調査時にも事故が発生しています。今秋は複数で行動していても事故に遭う可能性が高いと考えられます。最寄りの役場や警察署で周辺の出没状況を確認し、花火を使つての追い払い、クマスプレーの携行、またリスクが高いと判断されたら中止するようお願いします。**

⑩ **登山やサイクリング、キャンプなどの野外活動、山間部の名所旧跡での観光、緑の多い公園での散策もリスクが高いと考えられます。最寄りの役場や警察署で周辺の出没状況を確認し、やはりリスクが高いと判断されたら中止するよう願います。**